

建設経済常任委員会行政視察委員長報告

- 1 視察期日 平成23年10月4日（火）から6日（木）
- 2 視察地 広島県福山市、山口県岩国市、広島県東広島市
- 3 出席委員 大嶋達巳、桂 祐司、加藤勝明
横山 功、伊藤堅治、岸 昭二

4 視察事項

【福山市】人口 47万2,639人 （平成23年10月1日現在）

- ・温暖化対策事業（スクラムふくやま☆エコトライ 2nd）について

【岩国市】人口 14万6,349人 （平成23年10月1日現在）

- ・観光ボランティアの取組みについて

【東広島市】人口 17万9,220人 （平成23年10月1日現在）

- ・シティプロモーション戦略プランについて

以上の視察事項について、主なものを順次報告いたします。

はじめに福山市の視察概要から報告いたします。

「温暖化対策事業（スクラムふくやま☆エコトライ 2nd）」について

福山市では、CO₂などの温室効果ガスが増え、地球の温暖化が進み、海面水位の上昇、豪雨・干ばつ等の異常気象、生態系への影響など、地球温暖化問題は待ったなしの状況となっていることから、一人ひとりが力を合わせ、自分でできることから始める地球温暖化防止対策に取り組むことを目的に、温暖化対策事業「スクラムふくやま☆エコトライ 2nd」を行っています。

当事業は協働をベースに、「家庭・地域・学校」における取組みとして、ふくやまエコファミリー認定制度、ECOスクールや自転車利用促進等の取組みなど、また、「事業者」においては、ふくやまエコ企業認定制度、ISO14001・エコアクション21取得費補助の取組みなど、「行政」においては、関係機関への温暖化防止活動実施の啓発、緑化推進のための苗木の配布、自転車利用の意識の醸成、自転車を利用しやすい空間整備等の取組みなどが行われています。これら3者がスクラムを組んで地域から温暖化対策を発信し、身近に取り組める環境活動を通じて、平成32年度までに温室効果ガスの排出量を平成19年度比で40%削減することを目標と定め行っています。

また、そのほかの取組みとして、福山都市圏交通円滑化総合計画推進会議を主体とした、備後のCO₂削減『ベスト運動』が行われています。これは、ノーマイカーデーを発展させた形ですが、この運動の参加者は、まず、携帯電話やインターネットを通じ会員登録を行い、月に1回以上自由な方法でエコ通勤に取り組み、翌月にその内容をインターネット等から報告するものです。

登録会員数は平成22年度末現在で1万6千人を超えていることから、この

運動の継続的な実施によりCO₂削減効果が期待できるとのことでした。

次に**岩国市**の視察概要について報告いたします。

「観光ボランティアの**取組み**」について

山口県の東端に位置し、錦帯橋、岩国城を中心にした市内観光地には、年間約400万人の観光客が訪れています。また、元の武家屋敷一体が公園となっているなど、香川家長屋門をはじめとする近世の遺構を中心にそれぞれ由緒ある建造物が維持補修され保存されています。

岩国に訪れる観光客の増加に対し、観光施設の整備が進みボランティアによる観光ガイドの要請に対応して「岩国の歴史文化を観光客に正しく理解していただき、観光岩国の発展に寄与するため」、平成5年4月に、岩国観光ボランティア協会が発足しました。この協会には、平成22年4月現在で、51名の方に会員として登録をいただいております、年齢層も40歳から80歳まで幅広く、経験が豊かな方も多くいらっしゃるとのことでした。

観光ガイドに当てられる費用は交通費のみで、食事などは手弁当としていくことから、観光ガイドの郷土愛に支えられながら実践されています。また、現場でガイドが斡旋して販売した錦帯橋と岩国城のセット券の売上げの一部を活動資金に当てているなど市との連携を図っているとのことでした。

課題としては、協会内には外国語に精通するガイドが少ない中で、近年、外国からの観光客数が増加傾向にあることから、外国語に精通したガイドを養成しなければとのことでした。また、会員が高齢化しているため実働日数が若手の会員にどうしても偏ってしまうことから、若年層の方に対する募集に力を入れていきたいとのことでした。既存の案内コースだけではなく、文化財の豊富な所をうまく組み合わせるなど、新たな散策コースの開拓を検討しているとのことでした。

次に**東広島市**の視察概要について報告いたします。

「シティプロモーション**戦略プラン**」について

東広島市は、これまで、美しく豊かな自然、歴史と伝統ある文化、大学や試験研究機関の集積、高速交通網の整備という多くの特長と魅力を活かしながら、県央の拠点都市として発展し、全国的にも成長都市として注目されるまでになりました。しかし、全国的に人口減少傾向にある中で都市を成長させることは容易ではなく、市民生活の質的向上や魅力あるまちづくりが強く求められています。

こうした状況に対応するためには、バランスのとれた総合力のあるまちづくりを進めながら東広島市の特長と魅力を活かし、都市のイメージを向上させ、市外から人や企業を呼び込むための仕掛けや仕組みづくりが必要とされており、その一連の活動がシティプロモーションとなっています。

シティプロモーションは単なる情報発信ではなく、都市の好イメージを獲

得するため、魅力ある地域資源を組み合わせたり、加工したりして価値を高めて、地域内外へ発信します。また、シティプロモーションを市民や団体等とともに推進する過程で、市民が東広島市に対する誇りと愛着を持ち、元気なまちづくり活動につながり、その活動が市内外の高評価となるというプラスの循環を生み出すことになるとのことでした。

東広島市が展開するシティプロモーションの基本的な考え方と戦略の方向性を共有し、効果的にシティプロモーションを推進するため、平成23年2月、3つの基本方針からなる「シティプロモーション戦略プラン」を策定したということです。

策定してから間もないため、効果の検証等はできていませんが、精力的に進めていきたいとのことでした。

以上が建設経済常任委員会行政視察の概要ですが、詳しい資料等は、議長への視察報告書原本に添付してありますので、必要な方は御覧いただきたいと存じます。

今後、本市において参考となる事項については、早急に御検討をいただきますよう要望し報告といたします。

平成23年11月30日

建設経済常任委員会
委員長 岸 昭二

北本市議会議長 加藤 勝明 様